

適用害虫と使用方法(適用表から果菜類のみ抜粋) 赤字:根回し水/根じめ処理

2023年12月現在

作物名	適用害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロロールを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
きゅうり	アブラムシ類	400株当り 25ml	400株当り2~20ℓ (1株当り5~50ml)	育苗期後半 ~定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの処理 及び定植直後の 株元灌注は 合計1回以内、 定植後の散布は 3回以内)
	アザミウマ類、コナジラミ類 ハモグリバエ類		400株当り10~20ℓ (1株当り25~50ml)	定植直後		株元 灌注	
	アブラムシ類		400株当り20~200ℓ (1株当り50~500ml)	定植直後		株元 灌注	
トマト ミニトマト	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類 ハモグリバエ類、トマトキバガ	400株当り10~20ℓ (1株当り25~50ml)	400株当り10~20ℓ (1株当り25~50ml)	育苗期後半 ~定植当日	灌注	株元 灌注	
	コナジラミ類	400株当り20~200ℓ (1株当り50~500ml)	定植直後	株元 灌注			
ピーマン	アブラムシ類、アザミウマ類 コナジラミ類	400株当り10~20ℓ (1株当り25~50ml)	400株当り10ℓ (1株当り25ml)	育苗期後半 ~定植当日	灌注	株元 灌注	
	コガネムシ類	400株当り10ℓ (1株当り25ml)	400株当り200ℓ (1株当り500ml)	定植直後	株元 灌注	株元 灌注	
	アブラムシ類	400株当り200ℓ (1株当り500ml)	定植直後	株元 灌注			
なす	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類 ハモグリバエ類、ネキリムシ類	400株当り10~20ℓ (1株当り25~50ml)	400株当り10~20ℓ (1株当り25~50ml)	育苗期後半 ~定植当日	灌注	株元 灌注	
	アブラムシ類	400株当り200ℓ (1株当り500ml)	定植直後	株元 灌注			
メロン すいか	アブラムシ類、アザミウマ類 コナジラミ類	400株当り10~20ℓ (1株当り25~50ml)	400株当り10~20ℓ (1株当り25~50ml)	育苗期後半 ~定植当日	灌注	株元 灌注	
	アブラムシ類	400株当り200ℓ (1株当り500ml)	定植直後	株元 灌注			
ししとう	アブラムシ類、アザミウマ類 コナジラミ類	400株当り10ℓ (1株当り25ml)	400株当り10ℓ (1株当り25ml)	育苗期後半 ~定植当日	灌注	4回以内(灌注は1回以内、 散布は3回以内)	

定植直後処理(根回し水/根じめ処理)の希釈早見表 詳細版

		必要水量									
		100ℓ	200ℓ	300ℓ	400ℓ	500ℓ	600ℓ	700ℓ	800ℓ	900ℓ	1,000ℓ
1株当りの灌水量	500ml	12.5ml	25ml	37.5ml	50ml	62.5ml	75ml	87.5ml	100ml	112.5ml	125ml
	450ml	13.9ml	27.8ml	41.7ml	55.6ml	69.4ml	83.3ml	97.2ml	111.1ml	125ml	138.9ml
	400ml	15.6ml	31.3ml	46.9ml	62.5ml	78.1ml	93.8ml	109.4ml	125ml	140.6ml	156.3ml
	350ml	17.9ml	35.7ml	53.6ml	71.4ml	89.3ml	107.1ml	125ml	142.9ml	160.7ml	178.6ml
	300ml	20.8ml	41.7ml	62.5ml	83.3ml	104.2ml	125ml	145.8ml	166.7ml	187.5ml	208.3ml
	250ml	25ml	50ml	75ml	100ml	125ml	150ml	175ml	200ml	225ml	250ml
	200ml	31.3ml	62.5ml	93.8ml	125ml	156.3ml	187.5ml	218.8ml	250ml	281.3ml	312.5ml
	150ml	41.7ml	83.3ml	125ml	166.7ml	208.3ml	250ml	291.7ml	333.3ml	375ml	416.7ml
	100ml	62.5ml	125ml	187.5ml	250ml	312.5ml	375ml	437.5ml	500ml	562.5ml	625ml
50ml	125ml	250ml	375ml	500ml	625ml	750ml	875ml	1000ml	1125ml	1250ml	



ベリマークSC 必要薬量

*定植直後処理(根回し水/根じめ処理)はトマト、きゅうり、なす、ピーマン、すいか、メロンでの登録となります。

●ラベルをよく読んでください。●記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。●防除日誌を記載しましょう。

2332(24-1) ©2024 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC, FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。



新規登録拡大!
根回し水/
根じめ処理
(定植直後 株元灌注処理)
ピーマン、なす、メロン、
すいかなど



すばやく根から吸収される苗灌注1回で、速効食害停止&約1ヶ月残効!
悪い虫をつけさせない。



野菜灌注用殺虫剤
ベリマーク SC
powered by
CYAZYPYR®
ACTIVE INGREDIENT
ジアミド剤のプロ FMCの卓効成分
シアントラニプロロール(通称:サイアジビル®)を18.7%高配合!



秀品収穫は
苗美人
から。



初期生育で悪い虫をつけさせない! “苗美人”を育て、秀品収穫をサポート!

- 特長 1** 卓効でおなじみのジアミド系有効成分シアントラニプロロール(通称:サイアジピル®)を、ぜいたくに**18.7%配合!**
- 特長 2** まとめて**簡単&手間いらずの灌注処理**で、撒いたそばから**食害を停止させる速効性!**
- 特長 3** 幅広い**難防除・抵抗性・重要害虫**に有効! 約**3~4週間の長い残効性!**
- 特長 4** 発売以来、**薬害事例ゼロ!** マルハナバチ、天敵にも**高い安全性!**



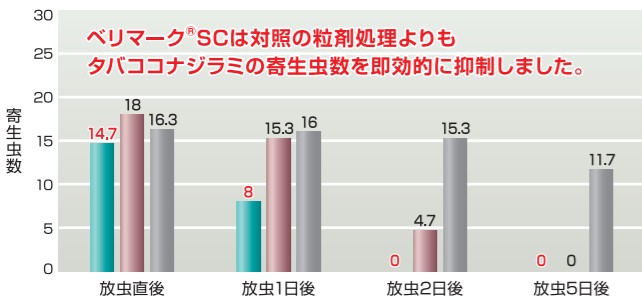
熊本県玉名市 梅野治行さん

これまででは、粒剤をまいていましたが、水に溶けて効果を発揮するまでの時間に、コナジラミにやられないか心配でした。ベリマーク®SCの灌注処理なら、水に溶かした成分がすぐに吸われるから、安心感が違います。



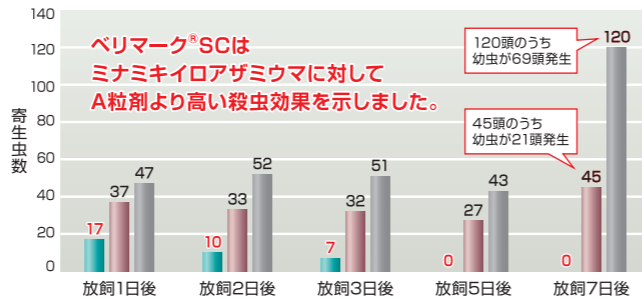
※コメントは取材当時の個人の感想です。本内容は2016年3月取材時のものです。

優れた効果と即効性 ミニトマト/タバココナジラミ(バイオタイプB)



2021年 日本書道株式会社 小田原研究所
【試験概要】◎品種:レジナ◎区制:3連制 ◎処理日:2月17日◎処理方法:9cmピニールポットで育苗した苗に対し、ベリマーク®SC400倍希釈液を1株あたり25ml灌注処理、もしくはA粒剤を1株当たり2g、株元散布処理。A粒剤を処理した苗には処理後に25mlの水遣水を灌水、1時間後に各苗を5号鉢へ定植しさらに50mlの水遣水を灌水。定植2時間後に最上位展開葉にピニール袋を被せ、タバココナジラミ約10ペア放虫。以降毎日50mlの水遣水を灌水。◎調査方法:経時的に袋の外から生存虫数を(正常に葉裏に定位している個体)を計数し、5日後に袋を外し生存虫数を計数。

高い殺虫効果 きゅうり/ミナミキイロアザミウマ



2022年 宮崎県総合農業試験場
【試験概要】◎品種:穂木 勇翔、台木 ゆうゆう輝黒タイプ◎試験方法:ベリマーク®SC区は鉢上げ前日(台木播種17日後)にシリンジを用いて株と土壌に剤がかかるように400倍希釈液を1株あたり25ml処理し、A粒剤は鉢上げ直後に1株あたり1gを処理した。鉢上げ後は、各区5株を1つのテスター内に静置し、鉢上げ当日(台木播種18日後)にミナミキイロアザミウマ成虫を1株あたり5頭放飼した。計3反復。◎調査方法:各区アザミウマ放飼1日後、2日後、3日後、5日後、7日後に各株の幼虫・成虫数を肉眼で計数した。

果菜類: 定植前処理の希釈方法と希釈早見表(400株当り希釈水量10~20ℓの場合)

水やりと同様方法! 25mlの薬量を*10~20ℓの水に希釈して、400株に均一に撒ききるだけ!

動噴で(一般的な灌水ノズル、水圧弱め、約500株をおよそ1分で処理できます!)

ベリマーク®SC 25ml

10ℓ ~ 12.5ℓ ~ 15ℓ ~ 20ℓ

400倍液 ~ 500倍液 ~ 600倍液 ~ 800倍液

*25mlの薬量をきゅうりは400株当り2~20ℓ、ししとうは400株当り10ℓの水に希釈。

処理する株数	必要薬剤量(ml)	必要水量(ℓ)
80	5	2~4
400	25	10~20
800	50	20~40
1,600	100	40~80
2,000	125	50~100

NEW 定植直後の灌水(根回し水/根じめ)と、一緒に処理できて省力的! トマト・きゅうり・なす・ピーマン・すいか・メロン苗の **根回し水/根じめ処理** (定植直後 株元灌注処理)

従来行っていた「植穴への殺虫剤処理」をスキップ。
忙しい定植時期に、他の作業をこなす余裕が生まれます。



ベリマーク®SC 根回し水処理 (定植直後 株元灌注処理)

薬液を十分に吸収させましょう!
株元へ弱めの水圧でゆっくりとていねいに

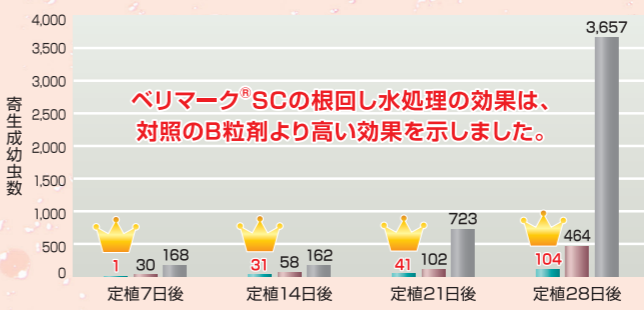


薬量:400株当り25ml
希釈水量:400株当り20~200ℓ (1株当り50~500ml)

定植直後処理(根回し水/根じめ処理)による高い効果 トマト/タバココナジラミ バイオタイプQ



定植後3~4週間、コナジラミ類から、しっかり作物を守ります!



2021年 熊本県農業研究センター 生産環境研究所
【試験概要】◎品種:りんか409◎区制:1区 10株 3連制◎対象病害虫発生状況:中→多発生(放虫)◎播種:4月9日◎定植:5月24日◎処理日:5月24日(B粒剤は5月21日)◎処理方法:ベリマーク®SCは400株当り原液25ml処理とするため、各株の株元に8000倍に希釈した薬液500mlを根回し水灌注処理した。◎処理時の作物のステージ:草丈40~50cm、本葉約8枚◎調査日:定植7日後(5月31日)、定植14日後(6月7日)、定植21日後(6月14日)、定植28日後(6月21日)◎調査方法:各区6株について、上、中、下位から1複葉(3複葉/株、合計18複葉)を選び、寄生する成虫および幼虫(中齢、老齢)を肉眼により計数した。

定植直後処理(根回し水/根じめ処理)の希釈方法と希釈早見表

		必要水量		
		200ℓ	400ℓ	1,000ℓ
1株当りの灌水	500ml	25ml (400株分)	50ml (800株分)	125ml (2,000株分)
	250ml	50ml (800株分)	100ml (1,600株分)	250ml (4,000株分)



ベリマーク®SC 必要薬剤量

表の見方の例

定植直後の灌水に**400ℓ**を使用される方で、**1株当り500ml**処理される場合

ベリマーク®SC 原液50ml

水400ℓへ投入 (8000倍希釈相当)

800株を処理!

*定植直後処理(根回し水/根じめ処理)はトマト、きゅうり、なす、ピーマン、すいか、メロンでの登録となります。